



アマドコロ [甘野老]

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



科名 キジカクシ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

春に伸ばす茎は弓なりになり、葉腋ごとに1～2個の筒状の白い花を下垂させる。山野に自生する落葉性の多年草で、僅かに開く花は山野草の味わいがある。名前は、若芽と地中の根茎が山菜になり、太い根茎の形がトコロ（ヤマノイモ）に似て、甘みがあることに由来する。



Memo

近縁種のホウチャクソウとよく似ている。臭気があるので誤食はないと思われるが注意が必要。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実									■				
紅 葉													
施 肥			■ (不要、あるいは春先に緩効性肥料を少々)										
剪 定		■ (枯れた地上部の除去)											

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壤	乾	○	○		湿
寒 さ	強	○			弱
暑 さ	強		○		弱
潮 風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
			○	○			

ポイント

葉に白い覆輪のある品種もある。清涼感があり、花材にもよく利用される。まとめて群生させると効果的な配植になる。ナルコユリに似ているが、アマドコロの茎は角張っている点で見分けられる。

剪 定

秋に地上部が枯れたら、切除すると美観を保てる。生育期の葉を美しく維持したいときは、強い日差しを避け、盛夏に遮光するとよい。

病虫害

混み過ぎると、さび病が発生することがある。カビの一種が原因で、夏孢子により感染が広がる。殺菌するとともに、風通しを改善し、変色した葉や落ち葉など感染源を取り除くとよい。